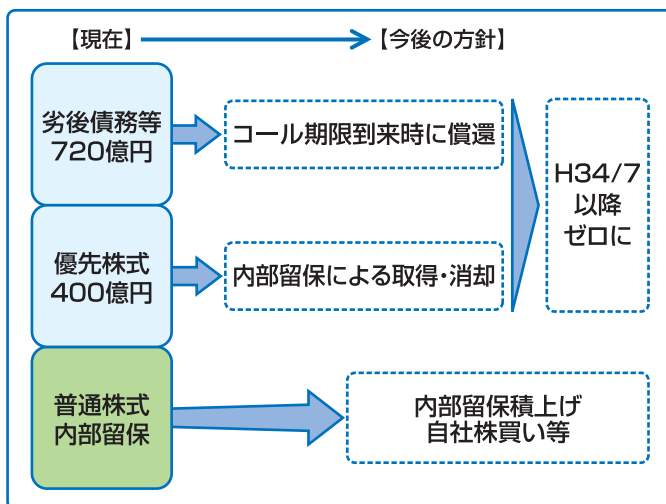


池田泉州ホールディングスでは、「長期経営計画」を策定し、「長期的資本政策」を公表いたしました。「長期的資本政策」では平成32年度（2020年度）に向けた当社の資本政策の方針をお示ししております。内部留保積上げにより劣後債務・優先株式の償還・消却を進め、普通株式の配当や自社株買いも含めて、株主還元を努めてまいります。

1. 資本構成の最適化



2. 資本関連コストの削減

内部留保の蓄積スピードを加速

ファイナンス実施

	H27/3期	H28/3期	H31/3期 (計画)
配当金+劣後債務費用(億円)	71	→ 71	↘ 56
優先配当控除後EPS(円)	66	↘ 55	↗ 69
優先株控除後BPS(円)	774	↘ 759	↗ 819

株主還元の余地を拡大

3. 予想ROE

	H27年度	H28年度(予想)
株主資本ROE(税前)	10.31%	——
株主資本ROE	7.74%	7.5%前後
ROE(税前)	9.21%	——
ROE	6.92%	——

※有価証券評価差額金等含み損益を控除した株主資本ベース

平成32年度(2020年度)
8%台を維持・向上

4. 株主資本コスト(投資家の期待利回り)を上回るROEを維持

株主資本ROE

7.7%



当社の株主資本コスト

5.6%